

かけがわの森から

掛川市森林組合通信



2025年春号 Vol.71



これまで森の力再生事業を担当してきた経営計画課職員

森林が持っている、「森の力」を発揮させるために。
表層の土砂災害を防ぎ、洪水や濁水を緩和する
森の力再生事業の取り組み。
森林の機能をより高めることで、もつと気持ちの良い山を育みたい。

榛村航一 組合長の 元気もりもり(森・森)通信 39

「気持ちの良い山を創造する」

朝礼・月例ミーティング・安全対策会議等において、私は折に触れ「森林組合の最大の使命は組合員の方々に気持ちの良い山を返すこと」と言ってきました。そこで、私が思う「気持ちの良い山」とは何かについて解説したいと思います。

「気持ちの良い山」の林野庁的な模範解答は「国土保全、水源涵養、快適な環境の形成、保健・レクリエーション、文化の維持・継承、生物多様性の保全、地球温暖化の防止、そして木材等の生産といった多面的機能が適正に発揮され、我が国の国民生活及び国民経済を支えている山」となるでしょう。しかし、気持ちの良い山は、人それぞれの価値観が違うように、十人なら十通りの気持ちの良い山がある、と考えています。

私にとって「気持ちの良い山」は、少し抽象的になりますが、「自分の大切な家族、仲間、友人たちを連れて一緒に散歩したくなる山」のことです。それは、しっかりと整備されたスギ・ヒノキ人工林であり、人の手が入っていない天然林でもあり、木の実が沢山なる雑木林でもあります。人それぞれの価値観で、気持ちの良い山は多彩に存在していると思います。

森林組合では、組合員に気持ちの良い山をお返しするため、森林整備をする際に気をつけていることが三つあります。一つめは、作業路開設はしっかりと山と相談しながら踏査し、大雨が降っても土砂災害の原因にならないよう災害に強い道づくりを心掛けること。二つめは、材木を集材・運材する際には、残存木に傷つけないよう立木にトタンを巻くこと。材木に傷をつけることは、材の価値を下げるだけでなく、新車を傷つけたのと同じくらいショックなことです。三つめは、森と人との共生を目指し、森を未来へつなげていくため持続可能な林業を実践・継続していくことです。これこそが、私たちが取り組む環境・経済・社会のバランスがとれたFSC認証の森づくりだと思っています。

大切な家族や仲間を連れて一緒に散歩したくなる山々の創造に向け、私たちは森林整備に邁進します。これからも皆さまのいっそうのご理解・ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



「これいい!」 購買担当「リエさん」のオススメGOODS!!

冬眠明けのクマにご用心!

クマよけに!ワンタッチで音消しできるベアベル
(すべて税込価格)

花鈴 ▶
¥1,210

小さくて軽いので
こどもさんにも
おすすめ♪



オシャレで
取り外し
カンタン



▲森の鈴Light
¥2,970

森の鈴
シリーズ
最軽量!



▶ハイマウントベアベル
¥2,860

▶クマ撃退
スプレー258g
ベルトホルスターケース付き
¥15,400 (注文販売)

お守りとして
持っておくと
安心



組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に異動が生じた際は
森林組合へご一報ください。



KAKEGAWA
Forest Owner's Cooperative

発行元

掛川市森林組合

〒436-0335 静岡県掛川市大和田320-1

TEL.0537-25-2111 FAX.0537-25-2113

<https://www.kakemori.jp>



20年の節目 県事業「森の力再生事業」を振り返る

今年度、静岡県の「森の力再生事業」が20年目を迎えます。この事業は「森林（もり）づくり県民税」を財源に、手入れが行き届かない森林を整備し、森林の公益的機能である「森の力」を向上させるために行う事業です。

当組合が「森の力再生事業」を活用して行った森林整備の面積は、19年間で1265^ハ（東京ドーム約270個分）になりました（図1、2参照）。事業では主に、林内が暗く下草が少ない、道から遠い、急傾斜地であるなどの条件の森林を森林所有者さんに代わって整備を行いました。

では、どのような効果が得られたのでしょうか？今回は平成18年度に整備した萩間地区の森林を対象に、砂防学・森林防災を専門とされている静岡大学の今泉教授に確認していただきました。

地面の様子から森の状況を把握する



原田…この森林は平成18年度に「森の力再生事業」を活用し間伐を行った現場です。そのうち一部は2年前に2回目の利用間伐を行いました。その効果をどうご覧になりますか？

今泉…まず、当時の整備前の写真を見ると、下層植生（下草・灌木）はほとんど生えていませんね。このような森林では雨粒が勢いよく地面にあたり、表面の土砂

を動かします。そこに水の流れができる、多くの土砂が流れてしまいます。特に傾斜30度以上の森林においては影響が大きい。木の栄養源であり水を溜める役割を担う地表の土砂が流れ出てしまうことは森林の機能を低下させます。

現在、この森林は植生が茂り、間伐の効果が現在も持続していると言えます。この効果を本事業では「森の力」の再生と呼んでいますね。

原田…森林管理の中では、水の移動、土砂の移動にも着目することが大切なのですが、最近では豪雨による土砂崩れが増えています。

今泉…まず、土砂崩れには2種類があ

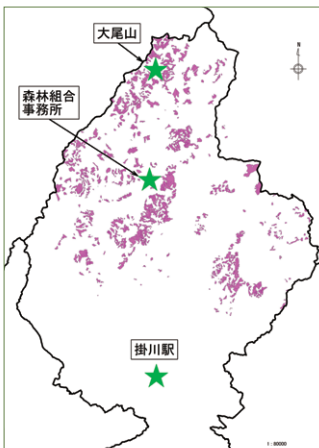


図1 森の力 施業履歴

整備年度	整備面積
平成18年度～平成22年度	283.85ha
平成23年度～平成27年度	420.67ha
平成28年度～令和2年度	305.92ha
令和3年度～令和6年度	254.72ha
合計	1265.16ha

図2 森の力 整備面積

ります。一つは地表から木の根が伸びる深さ1～2mほどの浅い層が崩れる表層崩壊。もう一つは、地中深いところで地質や地下水の影響で土砂が崩れる深層崩壊です。森林整備で深層崩壊を防ぐことはなかなか難しいのですが、表層崩壊を防ぐ上ではとても重要です。森の力再生事業が目指す「土砂災害防止」は表層崩壊の防止を指しています。ある研究では、森林が針葉樹か広葉樹か、樹齢が100年か50年か、という差では、表面浸食のリスクに違いはほぼない、というデータが出ています。

一方で皆伐直後の表土があらわになった状況では一時的に土砂移動のリ



今泉教授、学生、職員で現地を確認（左から3番目が今泉さん）

スクは高まります。今後の森林管理に活かして頂ければと思います。

原田…作業道開設時は土砂を人為的に大きく移動させます。今後も慎重な施工が必要ですね。

尾崎…森の力再生事業の目的は、森林の公益的機能（土砂災害防止や水源機能を育む等）の発揮で、もちろんそのことを主眼に置いて事業を行ってきましたが、森林組合として実際に作業を行う際は、良質な木を育てる、間伐材をできる限り活用する、といった視点があつたことも事実です。

今泉…確かに森の力再生事業のコンセプトは下層植生や広葉樹を増やしていくことです。県民税を活用しての事業ですので、ある程度考え方を切り分ける必要はあります。

一方で森林組合は森林管理を通して、「防災」「経済」の両視点で地域に貢献する組織と言えますから、森林の機能を俯瞰し、広葉樹を増やすことだけではなく、育林や木材利用といった多面的な視点に立つて施策を計画する必要がありますね。もちろん個々の森林所有者さんの視点も大切です。

研究者は、一つの物事に特化して探求し続けるため、自分の研究が社会にどう役立っているのか実感を得る機会はそれほど多くありません。今回、このように現場の役に立てることは嬉しいですし、また現場の声は自分の研究にも参考になります。



令和6年度に森林整備した現場

原田・尾崎…今泉先生、ありがとうございました。

今回、「森の力再生事業」を振り返ること、掛川市内の「森の力」が向上していること、そしてそれには長い年月が掛かること、また、整備の際は森林の様々な機能を踏まえることの大切さを実感しました。まずは令和7年度の事業にしっかりと取り組みたいと思います。

今後、森の力再生事業は、その効果や県民の理解の検証を経て、継続の是非等が議論されると思われます。現場の声を発信しながら、県民の皆様の理解促進や、より良い形での事業継続に努めてまいります。

お知らせ

森の力再生事業 タウンミーティング

本紙でたびたびお伝えした「森の力再生事業」について、静岡県主催のタウンミーティングが各地で開催されます。県内における事業の成果や荒廃森林の実態に関する情報提供に加え、今後の荒廃森林への対応について意見を募るそうです。是非ご参加ください。（掛川市では、5/28（水）19:00～掛川市役所で開催されます。）詳細は、QRコードもしくは静岡県HPをご覧ください。



黒保市有林の整備（今年度分）が完了しました！

掛川市では、森林環境譲与税を財源として、昨年から黒保市有林の段階的な再整備に取り組まれています。当組合では今年も約4^ハの間伐と作業道開設作業をさせていただきました。今後は木材生産だけでなく、市民が気軽に訪れて、楽しんで、学べる森林に向けた整備も進めていくそうです。立派なスギ・ヒノキが育ち、遊歩道もあり、自然観察やハイキングにもうってつけです。これから春の山を感じに、出かけてみてはいかがでしょうか。

合併協議の進捗

第63回 掛川市森林組合通常総会にて「掛川市森林組合・森町森林組合 合併協議会」の設立を承認いただいた後、2024年10月18日に第1回目、2025年1月24日に第2回目の合併協議会が実施されました。引き続き合併に向けた協議を進め、適切な段階で組合員関係各位へ情報発信をさせていただきます。